

第2回 日本建築学会グローバル化人材育成プログラム

「世界で建築をつくるぞ！ーグローバルな建築デザイン・マネジメント・エンジニアリング分野への入門」

主催：日本建築学会

○主旨

日本が人口減少期に移行する一方で、世界の人口はまだまだ増加の一途を辿っています。そうした状況下で、これまで国内にのみ主たる活躍の場を求めてきた建築の設計者や生産者が、国境を越えてグローバルに活躍の場を求めていこうとするのは、自然な流れです。

このような時代の転換期にあたって、本会では、昨年引き続き世界で活躍しようという志を持つ学生に対し、世界で建築をつくる活躍の場の実情や将来の方向性等について、基本となる認識や最新の情報等を獲得できる機会を提供する取組みとして、第2回プログラムを開催することといたしました。

○日時・会場

1日目：2018年8月27日（月）9:30～18:00（予定）

*1日目終了後、懇親会あり

2日目：2018年8月28日（火）9:30～16:30（予定）

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

○講師（敬称略）

岡部明子 東京大学大学院教授

小栗 新 アラップ東京事務所代表

豊田啓介 建築家／noiz architects 共同主宰

西口正人 竹中工務店役員補佐（国際支店）

坂 茂 建築家／坂茂建築設計代表取締役社長

*諸事情により講師は変更となる場合がございます。

○参加学生等募集要項

①参加条件：2日間の全スケジュールに参加することが条件となる。

②参加費：無料。ただし、飲食費は含まない。

③旅費支給：関東支部以外の支部管轄地域に在住の者については、本会より往復交通費を補助する。詳細は本小委員会で参加を認められた者に、その時点で知らせる。

④定員：50名

⑤参加者資格：建築系の大学生、大学院生で海外での建築活動に従事することに強い関心や意欲を持っている者。留学生も含む。主に学部3年生、大学院1年生を想定している。原則として本会の個人会員（正会員、準会員一応募時までに入会申込みをしている者を含む）を優先する。

⑥応募方法：所定の書式

応募申込書（<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2018/oubo2018.docx>）に必要事項（氏名、会員番号（会員外の方は会員外と記載）、所属大学、所属

大学住所、学年、自宅住所、メールアドレス、電話番号、交通費補助の有無、参加条件 2 日間参加することへの同意、前回プログラム参加・応募の有無、今回の応募動機と海外での活動への関心) を記入の上、所属大学教員 1 名の推薦文と署名・捺印をもらい、下記、申込先に電子メールで提出する。

⑦応募締切:~~2018年6月11日(月)~~ → **締切延長 2018年6月21日(木)**

⑧選考方法:日本建築学会国際委員会グローバル人材育成事業小委員会が書類選考によって行う。選考結果は 2018 年 6 月末日までにメールにて応募者に伝える。

⑨申込先:日本建築学会事務局 編集グループ 内野
e-mail : uchino@aij.or.jp TEL : 03-3456-2017

○前回プログラム概要

育成プログラムは、全国から集まった約 50 名の学生たちが 8 グループに分かれ、5 つの課題に取り組んだ。5 名の講師が講演したうえで課題を与え、グループごとにワークショップを実施した。ワークショップには、大学・建設会社・設計事務所・ハウスメーカー等から海外経験豊かな方々に参加していただき、各グループにメンターとして 2 名ずつ付き添い、学生たちの議論をサポートした。このような強力な布陣で、学生たちは 2 日間みっちり育成プログラムを堪能した。また、全プログラムを修了した者には修了証が授与されるとともに、各講師から優秀な発表には各講師賞が授与された。

また、前回の開催報告は「建築雑誌」2017 年 12 月号 vol.132 No.1705 (<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2018/zasshi2017.pdf>) に掲載しております。



講演

WS



WS 成果の発表

懇親会



各講師賞、修了証授与



集合写真